

地方創生交付金に係る事業実施結果報告  
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)			⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 実績値を踏まえた事業の今後について		⑦ 外部有識者からの評価	
				指標	指標値	目標年月	実績値	事業効果	今後の方針	今後の方針の理由	事業の評価	外部有識者からの意見
1	近江「美食都市(ガストロノミック・シティ)」推進事業	推進	14,942,769	観光入込客数	3,395,000人/年	平成30年3月	平成29年観光入込客数3,417,600人 (料理セミナー3回開催料理人計52人参加、フードカー(3台)年間延べ53台稼働、「梅あかり」5日間計1,330人参加)	観光入込客数の指標については、目標を上回る結果となった。本事業の直接的な効果としては左記のとおりであるが、セミナーを受けた料理人が学んだ料理を自店で提供することにより、本市の食の魅力が高まるなどの、間接的な効果を含めると一定以上の効果があったと思われる。	追加等更に発展させる	平成29年度事業について、計画事業に関しては、すべて実施はされ、左記のとおり一定以上の効果があったと思われる。しかしながら、イベントの集客数やフードカーの稼働実績等がやや低調であることや、食材のブランド化のさらなる推進等に課題があると思われる。事業最終年度である平成30年度は、補助事業者である近江ツーリズムボードに対して、適切な支援を行うほか、これまで以上にこまめな状況報告を求めることや事業の遂行の指示などを的確に行っていくことで、着実な成果を上げ、最終的な目標を達成していきたいと考えている。	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実績について、KPIの実績値を補足するように、具体的な事業内容やその成果について補足して説明した方が良い。</li> <li>・事業の内容から見て、単年度ですべての効果を発揮することは難しいので、継続して取り組んでいく必要がある。</li> <li>・市内の宿泊施設やタクシー会社等も含め、イベント周知の強化を図った方が良い。</li> <li>・四季折々の料理や和菓子などで地道にアピールしていけば人をひきつけることができるのではないかと。</li> <li>・ホテルの料理人などとも積極的に連携していく方が良い。</li> <li>・事業で取り上げている食材を用いた料理を、SNS等を用いてもっと発信してもらえるようにしてはどうか。</li> <li>・食材の安定供給も含めた全体的な仕組み作りについても検討が必要。</li> <li>・食材および料理の価格設定についても、高級路線で行くのか普及価格帯を目指すのか、戦略的な検討が必要。</li> <li>・彦根でも昔懐かしい洋食が流行していたりする。昔懐かしい料理と地産地消を結びつけることができれば、リピーターを獲得できるのではないかと。</li> <li>・素材のレベルをさらに向上させることが重要であり、それによって価格が上昇し、収益の確保につながる。</li> <li>・広くおいしさを知ってもらおうというのと、その中で少し理解してもらった人には、高級食材を、三ツ星シェフの料理も味わってもらおうというふうな、そういう2段階構えが一番よいのではないかと。</li> </ul>